

(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

事業名	防災・安全交付金(通常砂防)		路河川名等	(砂)上堰沢		
事業毎の通番	12	市町村名	長野市	箇所名(ふりがな)	大倉(おくら)	
事業目的	上堰沢は、土砂災害警戒区域に指定されており、区域内には長野市立豊野ひがし保育園(要配慮者利用施設)及び重要交通幹線である国道18号が存在する。その他にも人家59戸が危険区域に含まれており、豪雨時に土石流等が発生した場合は、非常に大きな被害が発生することが想定される。そこで本事業は砂防堰堤1基を施工し、被害を軽減することを目的とする。					
しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	4-1 県土の強靱化(災害に強いインフラ整備)		事業実施の根拠法令等	砂防法		
関連する事業、計画等	なし					
保全対象・範囲 受益対象・範囲	長野市立豊野ひがし保育園(園児104人、職員14人)、人家59戸、国道18号					
着手年度	平成30年度	事業期間	5年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
完成年度(見込み)	平成34年度	費用対効果	20.5		国庫 其他 県債 一般財源	
全体事業内容(主な工種)	砂防堰堤工 1基 渓流保全工		150,000	75,000	0 67,500 7,500	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	人家戸数 : 59戸、長野市立豊野ひがし保育園、国道18号を保全する				
	間接的効果(定量的・定性的)	緊急輸送路に位置付けられた国道18号を保全することで、周辺地域の安心・安全を確保する 土砂災害特別警戒区域の指定が解除される。				
評価の視点	必要性	○人家戸数 : 59戸 ○公共施設 : 大倉区公民館、国道18号 ○要配慮者利用施設 : 長野市立豊野ひがし保育園(園児104人、職員14人) ○避難場所、避難路 : なし			評価	A
	重要性	○過去の災害履歴 : なし ○交通影響 : 大(緊急輸送路である国道18号が遮断される) ○地域防災計画上の位置づけ : あり(長野市防災計画に記載あり)			評価	B
	効率性	○費用対効果(B/C) : 20.5 ○事業期間 : 5年間(H30~H34) ○工法等の比較検討 : 設計時に検討 ○流域の総合調整 : 調整済み(保安林なし)			評価	A
	緊急性	○流域の地形、特性 : 脆弱 ○流域の特性 : 放置林 ○平均勾配 : 10°以上(13.9°) ○土砂整備率 : 現況0% ○危険地区 : 土砂災害特別警戒区域に該当			評価	B
	計画熟度	○事業情報の共有 : 区長及び市と情報を共有(H28.11) ○地域要望 : 平成26年10月8日避難訓練実施など防災意識が高い ○地域の合意形成 : 危険渓流がある地域であり、土砂災害対策への要望あり ○住民との協働 : 防災体制整備の取組みを行っている			評価	B
	所管課意見	当該渓流の保全対象には地域防災計画に位置づけられる要配慮者利用施設及び重要な幹線道路である国道18号があるため、速やかな土砂災害対策が必要である。			採択状況	○ A
技術管理室意見	所管課の意見を適当と認める。					

**位置図**

**正面図**

今回計画砂防堰堤

至 妙高 国道18号

至 小布施

保全対象  
豊野ひがし保育園  
(要配慮者利用施設)  
児童104人、職員14人

現地状況写真

事業概要説明図表

事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	上堰沢は、土砂災害警戒区域に指定されており、区域内には長野市立豊野ひがし保育園(要配慮者利用施設)及び重要交通幹線である国道18号が存在する。その他にも人家59戸が危険区域に含まれており、豪雨時に土石流等が発生した場合は、非常に大きな被害が発生することが想定される。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	大倉地区では、年1回防災訓練を実施しており、地元住民の防災意識も高い。
③事業説明等の経緯	平成28年11月に大倉区長へ事業説明を実施。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	なし
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	調査段階においては希少な動植物は確認されなかった。砂防堰堤計画箇所は国道18号から山側へ入った箇所となるため、生活環境への影響は少ない。
⑥地域活性化への影響と配慮	砂防事業により、地域住民の安心・安全を確保すると共に、災害のない地域づくりを推進し、地域の活性化を図る。
⑦その他	なし

事業代表地点の緯度経度	北緯:N 138° 17' 32" 62 東経:E 36° 44' 01" 39
-------------	---